

子どもの可能性と親の責任



ある日、年長組の娘が保育所で、「縄跳をやるけど、私まだ跳べないの」と言い出しました。

「練習すればすぐに出来るようになるよ」と励まし、家族全員を巻き込んでの練習が始まりました。手本を見せませんが、うまくタイミングが取れずなかなか跳べません。毎日そんな練習が続いたある日、突然跳べるようになり、連続五十回も跳んで見せてくれました。子どもってすごい。うれしくて、うれしくて家の中でも跳び、保育所で友だちや先生にも見てもらい、褒められたことも報告してくれました。

夏になってプールが始まりました。水に顔をつけることが出来ない娘は、「明日、保育所でプール遊びのとき顔をつけなくてもいい?」と聞いてきました。「お母さんに聞いてもだめですよ。練習すれば縄跳のように出来るようになるよ」と言うと、それから毎日、顔(と言っても鼻の先か口の周りだけです)をつける練習をしました。その週末、家族で出かけたプールで、十秒位つけていられるようになり、「おもしろい!」と言って鼻先が赤くなるまで何度も繰り返し行っていました。その晩「明日は、

保育所で顔つけ頑張ってみる」という言葉を聞くことが出来ました。次の日、保育所から帰ってくると「顔つけて、お化け浮きも出来たよ。」とその様子をうれしそうに話してくれました。



これから親の手を離れ、本人のやる気と努力でしか出来ないことが確実に増えてきます。親として、今、子どもが何に悩み、何につまづいているのかを見守り、「やる気」を引き出し「努力」を続けさせる。また、練習すればやがて出来るようになるという「自信」をひとつでも多く付けさせていければと思うところです。

最後に、子どもたちに成長の場を与えていただけの保育所と先生方のご指導に感謝します。

下羽栗保育所

保護者会長 松原 香



笠松町道德教育連絡会議

教育委員会
だより

スポーツで健康づくり 一人一スポーツ

皆さん、週に一度、少なくとも二週間に一度くらいは、健康づくりを意識したスポーツに取り組んで、いい汗を流していますか?体を動かすことは身体的にはもちろんですが、精神的にもリフレッシュできますね。

国のスポーツ振興では、

「国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、関心に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯学習社会の実現」を目指しています。具体的には、成人の週一回以上のスポーツ実施率が五十%の達成を目標としています。我が国の余暇時間の増加は現代社会の傾向です。個人の趣味などに時間を費やして取り組む余裕も出てきたのではないのでしょうか。これと平行して自身の健康意識にも目を向け、スポーツジムに通い、トレーニングする人やプールで水中歩行する人。町並みをジョギングする人たちが多くなりました。さて、今年8月に行われたアテネオリンピック

で躍動する選手の姿に大きな感動を覚えたことも記憶に新しいですね。加えて、日本の快挙には目を見張るものがありました。選手育成がともうまく進められてきたのでしょうか。スポーツ人口のすそ野の広がりが今後期待出来る場所です。

岐阜県では、「スポーツ王国・ぎふ」づくりを目指し、「スポーツ」新1・1運動」21」を推進しています。世界一・日本一の「1」。県民一人一スポーツの「1」です。何かスポーツを始めたいませんか。近くの公民館や体育館を訪ねて情報収集してみてください。手軽に取り組める講座などから始めてみてはどうでしょうか。健康的な身体維持は健康的なライフワークの要です。一週間のライフプランに運動する時間帯を積極的に組み込んでいくことが大切です。食事、睡眠、そして運動と、意識的で地道な取り組みが明るく健康的な生活を送ることにつながると思います。